

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
2	村貫 真佐邦	教科書 改訂版 数学Ⅲ（数研出版） 補助教材 システム数学 入試必修問題集 実践 5thEdition 数学ⅠⅡⅢⅣ（ベクトル）（啓林館） システム数学 入試必修問題集 実践 5thEdition 数学ⅢⅣ（複素数平面・平面上の曲線）（啓林館）
必 履 修 学校必履修 必修選択 ○自由選択		

#### ◆学習の目標

難関国公立大学入試に対応できる応用力を身に付ける。

#### ◆主な学習内容・方法

入試問題演習をとおして、数学ⅠⅡⅢⅣの総合演習を行う。

#### ◆到達目標と観点別評価の評価規準

数学的に考える資質・能力を身に付けているかを、数学ⅠⅡⅢⅣの問題演習をとおして次の観点でみることで評価する。

##### 〔観点別評価の評価規準〕

##### ○知識・技能

基本的な概念や原理を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理する技能を身に付けることができる。

##### ○思考・判断・表現

問題を数学的に考察して解決に至ったり、解法の過程や結果を多角的に考察する力を養い、思考の過程を振り返りながら発展的に考え、解法を見つけていくことができる。

##### ○主体的に学習に取り組む態度

数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり改善しようとする態度や積極的に数学を利用しようとする姿勢を見ることができる。

#### ◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期（26時間）	2学期（28時間）	3学期（16時間）
------	------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

予習	テキストの問題を解く。問題を解く中で、教科書や問題集、参考書にある定理・公式など基本事項の確認をする。
復習	授業で解説された内容を定着させるために、問題集や参考書を使って反復練習をする。また、理解を深めるために問題集や参考書にある応用問題にも取り組む。
課題	提出課題、黒板で問題を解く課題のいずれも、他者に解説ができるくらいになるまで内容の理解を深め適切な表現ができるようにする。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	総合演習 (数学Ⅰ A Ⅱ B Ⅲ C)	2 6	総合演習	基本事項及び確実な計算力を身に付けることができる。 国公立大学入試に対応できる記述力や応用力を身に付けることができる。
	5				
	6				
	7				
2 学期	8	総合演習 (数学Ⅰ A Ⅱ B Ⅲ C)	2 8	総合演習	1 学期で学習したことを踏まえて、数学的思考力や表現力を高め、難関国公立大学入試に対応できる応用力を身に付けることができる。
	9				
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	総合演習 (数学Ⅰ A Ⅱ B Ⅲ C)	1 6	総合演習	入試問題を様々な視点から柔軟に考え、数学的論拠に基づいて解くことができる。
	2				
	3				